地域住民による防災訓練　風水害を想定　炭所地区

2007. 10. 11

	まんのう町役場				避難場所	自宅救助		消防職員	
ストーリー	災害対策本部		一般住民	地域外避難者	自治会安否	救護班	救援班	消防	
９：４０ 訓練開始１０分前までに自宅で待機	集会場にて待機 訓練の安全を確かめる		訓練開始１０分前 までに自宅で待機	訓練開始１０分前 までに自宅で待機	訓練開始１０分前 避難場所で待機	訓練開始１０分前 避難場所で待機	訓練開始１０分前 避難場所で待機		
S1　９：５０ 災害対策本部は、炭所地区に 避難勧告を出す。 住民は、安全な避難場所へ移動。	仮災害対策本部・ （　　）センターにて 任務遂行。		９：５０の時間を 合図に訓練 スタート。・ ・ 自宅から 避難場所へ移動	１名スタンバイ。	安否調査に必要な 筆記用具を準備 して置く。 １名スタンバイ。	救護に必要な 救護用具を準備 して置く。 １名スタンバイ。	救援に必要な 救援用具を準備 して置く。 ３名スタンバイ。	臨時避難場所 にて待機 地域の方の 動きを指導。	
S2　１０：００ 避難場所に次々と住民が避難 して来る。			避難場所に到着。 安否を伝える。		次々と避難して 来る住民の名前を 書き込み 安否を確認する。				
S3　１０：１０ 住民が避難所へ避難する中で・ Ａさんは、地域外である親戚の家に 避難する。	自治会からＡさんが・ 地域外へ避難するという 情報を受け取る			Ａさんは、親戚の 家に事前に避難する ことを自治会に 連絡する。	Ａさんの連絡を 受け、役場へ 知らせる				
S4　１０：２０ 土砂崩れが起き、一部孤立。 行方不明者が発覚。	避難場所から安否情報と共に 行方不明者３名がいることを 受ける。・ ・ 今回は、安否情報を受け取り 住民の動きを見る。				災害対策本部に 安否情報と共に 行方不明者３名が いることを伝える。				
S5　１０：２５ 災害対策本部へ救助要請する。	関係機関に連絡するが、 土砂崩れにより救助車両が 入れない状況となる。 救助に向かうには時間が 掛かることを伝え 迂回ルートをチェックする。				災害対策本部に 現在の安否状況を 伝え、行方不明者の 救助を要請するが 通行止めのため時間 が掛かると連絡を 受ける。				
S6　１０：３０ 行方不明者が３名を 救援班が救助に出る。 救援班は災害対策本部と安全性な・ ルートを確認して無理をせず 救助に向かう。（本来はプロに任せる）						行方不明者３名を 災害状況など安全性 を確認して救出に 向かう。・ 杖で見えない・ 足元の安全を確認・ する。	行方不明者３名を 災害状況など安全性 を確認して救出に 向かう。・ 杖で見えない・ 足元の安全を確認・ する。	救助へ向かう・ 注意点を指導。	
S7　１０：４０ 行方不明者、３名を救助し その場（自宅）で応急手当てを行い・ 避難場所まで搬送する。Ｂさんは、 精神的パニックと腕に切り傷。・ Ｃさんは、足を骨折している。						行方不明者３名の 応急手当を行う。・ Ｂさんは精神的 パニックと腕に 切り傷。Ｃさんは、 足を骨折している。	Ｂさんは、紐を 使って背負い。 ・ Ｃさんは・ 簡易担架を作って・ 搬送する。	応急手当の 仕方を指導。・ ・ 救助、搬送の 仕方を指導。	
S8　１１：００ 避難場所に到着。・ 安否調査を行い、医者の手配を要請。					災害対策本部に 行方不明者が 避難して来たことを 伝え、医者の 手配を要請する。				
１１：０５　終了									